

豪州高配当株 ツインαファンド (毎月分配型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合				
信託期間	2012年8月31日から2020年7月27日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド」および親投資信託である「T&Dマネーブルマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド</td> <td>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</td> </tr> <tr> <td>T&Dマネーブルマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。	T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。			
T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。				

運用報告書(全体版)(第13作成期)

第71期(2018年8月27日) 第74期(2018年11月26日)
第72期(2018年9月25日) 第75期(2018年12月25日)
第73期(2018年10月25日) 第76期(2019年1月25日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)」は、2019年1月25日に第76期決算を行いましたので、第71期から第76期の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率					
第9 作 成 期	47期 (2016年8月25日)	円 4,499	円 100	% △0.6	% —	% —	% 98.7	百万円 17,895
	48期 (2016年9月26日)	4,375	100	△0.5	—	—	99.2	17,239
	49期 (2016年10月25日)	4,379	100	2.4	—	—	98.8	17,225
	50期 (2016年11月25日)	4,198	100	△1.8	—	—	98.9	16,407
	51期 (2016年12月26日)	4,256	100	3.8	—	—	98.9	16,639
	52期 (2017年1月25日)	4,117	100	△0.9	—	—	98.5	16,269
第10 作 成 期	53期 (2017年2月27日)	4,121	100	2.5	—	—	98.8	16,375
	54期 (2017年3月27日)	4,060	70	0.2	—	—	98.7	16,166
	55期 (2017年4月25日)	3,964	70	△0.6	—	—	99.2	14,902
	56期 (2017年5月25日)	3,980	70	2.2	—	—	99.0	14,328
	57期 (2017年6月26日)	3,913	70	0.1	—	—	99.2	13,860
	58期 (2017年7月25日)	3,879	70	0.9	—	—	99.2	13,608
第11 作 成 期	59期 (2017年8月25日)	3,858	70	1.3	—	—	98.9	13,221
	60期 (2017年9月25日)	3,841	70	1.4	—	—	99.3	12,806
	61期 (2017年10月25日)	3,836	70	1.7	—	—	99.1	12,378
	62期 (2017年11月27日)	3,643	70	△3.2	—	—	98.9	11,623
	63期 (2017年12月25日)	3,630	70	1.6	—	—	99.0	11,404
	64期 (2018年1月25日)	3,482	70	△2.1	—	—	99.0	10,723
第12 作 成 期	65期 (2018年2月26日)	3,249	70	△4.7	—	—	98.9	9,892
	66期 (2018年3月26日)	3,089	70	△2.8	—	—	99.0	9,338
	67期 (2018年4月25日)	3,041	70	0.7	—	—	99.7	9,031
	68期 (2018年5月25日)	2,967	70	△0.1	—	—	99.0	8,731
	69期 (2018年6月25日)	2,876	70	△0.7	—	—	99.4	8,334
	70期 (2018年7月25日)	2,843	70	1.3	—	—	99.1	8,146
第13 作 成 期	71期 (2018年8月27日)	2,805	70	1.1	—	—	99.2	7,977
	72期 (2018年9月25日)	2,676	70	△2.1	—	—	99.0	7,631
	73期 (2018年10月25日)	2,528	50	△3.7	—	—	99.0	7,215
	74期 (2018年11月26日)	2,465	50	△0.5	—	—	99.4	6,875
	75期 (2018年12月25日)	2,249	50	△6.7	—	—	99.1	6,059
	76期 (2019年1月25日)	2,326	50	5.6	—	—	98.8	6,228

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)II-豪州高配当株・ツインαファンド組入比率
		円	騰 落 率			
第71期	期 首 (前期末) 2018年7月25日	2,843	—	—	—	99.1
	7 月 末	2,849	0.2	—	—	98.8
	期 末 2018年8月27日	2,875	1.1	—	—	99.2
第72期	期 首 (前期末) 2018年8月27日	2,805	—	—	—	99.2
	8 月 末	2,816	0.4	—	—	98.7
	期 末 2018年9月25日	2,746	△2.1	—	—	99.0
第73期	期 首 (前期末) 2018年9月25日	2,676	—	—	—	99.0
	9 月 末	2,674	△0.1	—	—	98.8
	期 末 2018年10月25日	2,578	△3.7	—	—	99.0
第74期	期 首 (前期末) 2018年10月25日	2,528	—	—	—	99.0
	10 月 末	2,502	△1.0	—	—	99.0
	期 末 2018年11月26日	2,515	△0.5	—	—	99.4
第75期	期 首 (前期末) 2018年11月26日	2,465	—	—	—	99.4
	11 月 末	2,531	2.7	—	—	99.2
	期 末 2018年12月25日	2,299	△6.7	—	—	99.1
第76期	期 首 (前期末) 2018年12月25日	2,249	—	—	—	99.1
	12 月 末	2,269	0.9	—	—	98.9
	期 末 2019年1月25日	2,376	5.6	—	—	98.8

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

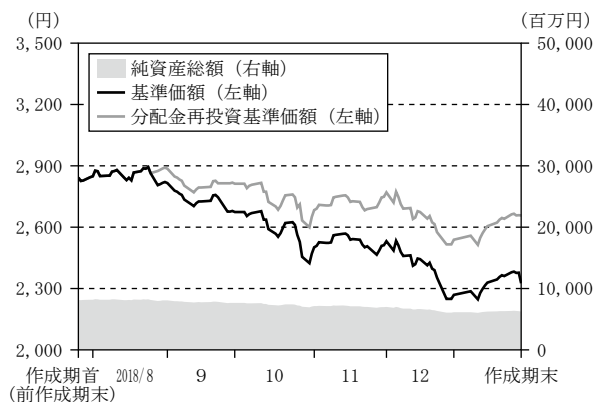
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第71期首：2,843円
 第76期末：2,326円（既払分配金340円）
 騰落率：△6.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年7月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている外国投資信託において、保有しているオーストラリア高配当株式の価格下落および豪ドルが円に対し下落したことなどがマイナス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト （ケイマン）II-豪州高配当株・ツインαファンド	△6.0%
T&Dマネーブールマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【オーストラリア株式市況】

当作成期のオーストラリア株式市場は下落しました。作成期初から2018年11月にかけては、米中貿易摩擦激化への警戒感、豪小売売上高や豪消費者信頼感指数などの一部の経済指標が軟調であったことなどを背景に、株価は軟調に推移しました。豪金融業界の不正問題を調査する王立委員会の中間報告が発表された影響などから、金融セクターが売られる展開となり、また、米国の長期金利の急上昇への警戒感から投資家のリスク回避の動きが強まったことも株価にマイナスとなりました。12月には、米国の要請によりカナダ当局が中国の通信機器会社である華為技術（ファーウェイ）のCFO（最高財務責任者）を逮捕したことを受けて、米国と中国の関係悪化への警戒感が強まったことに加え、米国において、国境警備の予算を巡り政府機関が一部閉鎖されたことなどが嫌気されて世界的に株式市場が下落したこと、オーストラリアの主要貿易相手国である中国において弱い経済指標が示されたこと、7-9月期の豪GDP（国内総生産）成長率が市場予想を下回ったことなどが要因となって株価は下落しました。

【為替市況】

当作成期の豪ドルは対円で下落しました。中国における景気刺激策への期待や、信用格付会社

S & Pが、財政見通しの改善を理由にオーストラリアの格付け見通しを上げたこと、2018年9月の豪雇用統計で失業率が約6年ぶりの低水準となったことなどが好感され、豪ドルが円に対し上昇する局面もありました。しかし、米中貿易摩擦や世界的な景気減速への懸念、豪州の消費や住宅関連の経済指標の軟化を背景に、RBA（オーストラリア準備銀行）が当面政策金利を据え置くとの見方が大勢となり、一部では利下げ観測も浮上するなか、豪ドルは円に対し下落しました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.16\%$ から作成期末は $\Delta 0.21\%$ となりました。作成期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

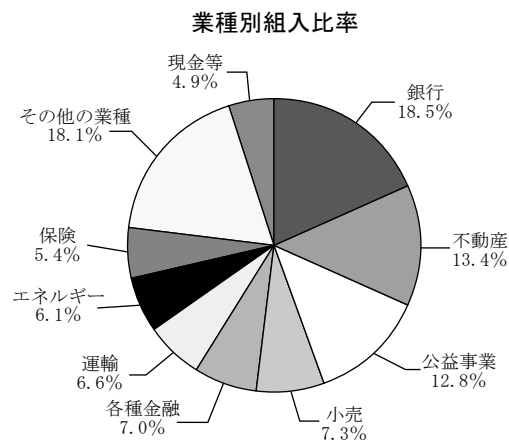
【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド」を概ね高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）への投資を行うと同時に、スワップ取引を通じて、オーストラリア株式市場全体（株価指数等）にかかるコールオプションを売却する「株式オプション α 戦略」および、円に対する豪ドルのコールオプションを売却する「通貨オプション α 戦略」を組み合わせた運用を行いました。

＜クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンドの組入状況＞
2018年12月28日現在（現地基準）



組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	AGL ENERGY LTD	公益事業	5.9%
2	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	5.5
3	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	4.9
4	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	銀行	4.3
5	WOODSIDE PETROLEUM LTD	エネルギー	4.2
6	WESTPAC BANKING CORP	銀行	3.9
7	SCENTRE GROUP	不動産	3.7
8	WESFARMERS LTD	小売	3.5
9	STOCKLAND	不動産	3.5
10	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	3.4

(注) 比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率（リートを含む）です。

(注) 組入状況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに当社が作成したものです。

【T&Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第71期から第72期まで各70円、第73期から第76期まで各50円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド」への投資比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T&Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、「株式オプション α 戦略」および「為替オプション α 戦略」を活用し、引続き年率15%の目標オプション料（プレミアム収入）の獲得を目指します。

【T&Dマネープールマザーファンド】

足許における比較的堅調な国内外の景気動向などを背景に、日本のインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2018年7月26日から2019年1月25日まで)

費用の明細

項目	第71期～第76期		項目の概要
	2018/7/26～2019/1/25		
	金額	比率	
平均基準価額	2,606円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	19円 (7) (11) (0)	0.724% (0.272) (0.436) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.023 (0.023)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.008 (0.008) (0.000)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	20	0.755	

- (注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期間末時点における「1口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2018年7月26日から2019年1月25日まで)

(1) 投資信託証券

		第71期～第76期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	口 26,991	千円 65,000	口 242,411	千円 573,273

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第71期～第76期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 7,023	千円 7,140

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2018年7月26日から2019年1月25日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2019年1月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第70期末)	当 作 成 期 末 (第 76 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	口 2,985,603	口 2,770,183	千円 6,152,548	% 98.8

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前作成期末 (第70期末)	当 作 成 期 末 (第 76 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 42,804	千口 35,780	千円 36,367

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は648,704千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2019年1月25日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 76 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	千円 6,152,548	% 96.1
T & D マネープールマザーファンド	36,367	0.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	212,298	3.3
投 資 信 託 財 産 総 額	6,401,213	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年8月27日現在 2018年9月25日現在 2018年10月25日現在 2018年11月26日現在 2018年12月25日現在 2019年1月25日現在

項 目	第 71 期 末	第 72 期 末	第 73 期 末	第 74 期 末	第 75 期 末	第 76 期 末
(A) 資 産	8,215,972,308円	7,863,353,153円	7,453,308,448円	7,047,190,287円	6,249,255,572円	6,401,213,978円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	255,720,556	262,410,959	276,717,266	175,652,316	180,331,738	212,297,239
ク レ デ ィ ・ ス イ ス ・ ユ ニ バ ー サ ル ・ ト ラ ス ト (ケ イ マ ン) Ⅱ - 豪 州 高 配 当 株 ・ ツ イ ン α フ ァ ン ド (評 価 額)	7,916,732,517	7,557,427,239	7,140,216,228	6,835,166,595	6,005,633,588	6,152,548,941
T&Dマネーブルマザーファンド(評価額)	43,519,235	43,514,955	36,374,954	36,371,376	36,371,376	36,367,798
未 収 入 金	-	-	-	-	26,918,870	-
(B) 負 債	238,862,426	231,832,992	238,250,477	171,341,263	189,514,276	173,158,011
未 払 金	-	-	65,000,000	-	-	-
未 払 収 益 分 配 金	199,087,695	199,656,339	142,706,970	139,490,989	134,699,719	133,897,170
未 払 解 約 金	29,043,498	23,094,238	21,600,798	22,797,091	47,073,517	31,608,129
未 払 信 託 報 酬	10,618,963	8,987,290	8,849,023	8,958,569	7,660,105	7,572,667
未 払 利 息	503	530	549	325	312	339
そ の 他 未 払 費 用	111,767	94,595	93,137	94,289	80,623	79,706
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	7,977,109,882	7,631,520,161	7,215,057,971	6,875,849,024	6,059,741,296	6,228,055,967
元 本	28,441,099,390	28,522,334,203	28,541,394,029	27,898,197,889	26,939,943,894	26,779,434,081
次 期 繰 越 損 益 金	△20,463,989,508	△20,890,814,042	△21,326,336,058	△21,022,348,865	△20,880,202,598	△20,551,378,114
(D) 受 益 権 総 口 数	28,441,099,390口	28,522,334,203口	28,541,394,029口	27,898,197,889口	26,939,943,894口	26,779,434,081口
1万口当たり基準価額(C/D)	2.805円	2.676円	2.528円	2.465円	2.249円	2.326円

(注) 当ファンドの第71期首元本額は28,651,239,862円、第71～76期中追加設定元本額は2,081,460,300円、第71～76期中一部解約元本額は3,953,266,081円です。

(注) 元本の欠損

第76期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は20,551,378,114円です。

(注) 第76期末の1口当たり純資産額は0.2326円です。

損益の状況

自2018年7月26日 自2018年8月28日 自2018年9月26日 自2018年10月26日 自2018年11月27日 自2018年12月26日
至2018年8月27日 至2018年9月25日 至2018年10月25日 至2018年11月26日 至2018年12月25日 至2019年1月25日

項 目	第 71 期	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期
(A) 配 当 等 収 益	204,281,595円	197,740,166円	140,808,603円	139,420,064円	137,589,728円	132,584,064円
受 取 配 当 金	204,288,849	197,746,931	140,814,152	139,425,197	137,593,938	132,587,234
支 払 利 息	△ 7,254	△ 6,765	△ 5,549	△ 5,133	△ 4,210	△ 3,170
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 103,872,158	△ 356,665,742	△ 406,876,887	△ 166,501,037	△ 574,844,563	△ 210,558,417
売 買 益	1,372,400	2,638,372	3,339,242	3,602,879	6,378,072	212,696,796
売 買 損	△ 105,244,558	△ 359,304,114	△ 410,216,129	△ 170,103,916	△ 581,222,635	△ 2,138,379
(C) 信 託 報 酬 等	△ 10,730,982	△ 9,081,885	△ 8,942,203	△ 9,053,254	△ 7,741,443	△ 7,653,688
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	89,678,455	△ 168,007,461	△ 275,010,487	△ 36,134,227	△ 444,996,278	335,488,793
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△11,569,167,226	△11,547,370,280	△11,689,002,385	△11,711,998,398	△11,405,963,436	△11,769,086,225
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額)	△ 8,785,413,042	△ 8,975,779,962	△ 9,219,616,216	△ 9,134,725,251	△ 8,894,543,165	△ 8,983,883,512
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,408,243,711)	(3,413,202,438)	(3,406,251,548)	(3,318,974,595)	(3,196,439,996)	(3,173,599,445)
(G) 合 計 (D + E + F)	△20,264,901,813	△20,691,157,703	△21,183,629,088	△20,882,857,876	△20,745,502,879	△20,417,480,944
(H) 次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 199,087,695	△ 199,656,339	△ 142,706,970	△ 139,490,989	△ 134,699,719	△ 133,897,170
追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額)	△ 8,790,950,124	△ 8,986,778,020	△ 9,230,456,786	△ 9,143,849,430	△ 8,899,394,599	△ 8,988,154,003
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,402,706,629)	(3,402,204,380)	(3,395,410,978)	(3,309,850,416)	(3,191,588,562)	(3,169,328,954)
(I) 繰 越 損 益 金	△11,673,039,384	△11,904,036,022	△12,095,879,272	△11,878,499,435	△11,980,807,999	△11,563,224,111

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第71期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（193,550,613円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,408,243,711円）より、分配対象収益は3,601,794,324円（1万口当たり1,266円）であり、うち199,087,695円（1万口当たり70円）を分配金額としております。

【第72期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（188,658,281円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,413,202,438円）より、分配対象収益は3,601,860,719円（1万口当たり1,262円）であり、うち199,656,339円（1万口当たり70円）を分配金額としております。

【第73期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（131,866,400円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,406,251,548円）より、分配対象収益は3,538,117,948円（1万口当たり1,239円）であり、うち142,706,970円（1万口当たり50円）を分配金額としております。

【第74期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（130,366,810円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,318,974,595円）より、分配対象収益は3,449,341,405円（1万口当たり1,236円）であり、うち139,490,989円（1万口当たり50円）を分配金額としております。

【第75期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（129,848,285円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,196,439,996円）より、分配対象収益は3,326,288,281円（1万口当たり1,234円）であり、うち134,699,719円（1万口当たり50円）を分配金額としております。

【第76期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（129,626,679円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,173,599,445円）より、分配対象収益は3,303,226,124円（1万口当たり1,233円）であり、うち133,897,170円（1万口当たり50円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・%、1万口当たり・税引前）

項目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
	2018年7月26日 ～2018年8月27日	2018年8月28日 ～2018年9月25日	2018年9月26日 ～2018年10月25日	2018年10月26日 ～2018年11月26日	2018年11月27日 ～2018年12月25日	2018年12月26日 ～2019年1月25日
当期分配金	70	70	50	50	50	50
（対基準価額比率）	2.435	2.549	1.939	1.988	2.175	2.104
当期の収益	68	66	46	46	48	48
当期の収益以外	1	3	3	3	1	1
翌期繰越分配対象額	1,196	1,192	1,189	1,186	1,184	1,183

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
投資態度	<p>[高配当株投資]</p> <ul style="list-style-type: none"> 主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資を行います。 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 <p>[株式オプションα戦略・通貨オプションα戦略]</p> <ul style="list-style-type: none"> スワップ取引を通じて、実質的に豪州株価指数等*を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 *市場環境によっては、豪州株保有銘柄を対象とする場合があります。 スワップ取引を通じて、実質的に豪ドル（対円）を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 原則として概ね保有する豪ドル建資産の評価額程度のコールオプションの売却を行います。 <p>※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>転換社債、ワラントへの投資は行いません。</p> <p>同一発行体への投資割合は、原則として、純資産総額の10%以下とします。</p> <p>同一業種への投資割合は、原則として、純資産総額の35%以下とします。</p>
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド（各オプションα戦略の運用）
副投資顧問会社	<p>レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッド**（豪州高配当株の運用）</p> <p>※レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドの株式運用部門は、マーティン・カリー・オーストラリアのブランド名で事業活動を行っています。</p>

※次ページ以降の記載は、バンクオブニューヨーククモロン証券株式会社より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2017年2月1日～2018年1月31日

単位：円

収益

投資に係る純損益	880,689,814
外国為替取引に係る純損益	1,411,154
受取利息	—
受取配当金（源泉徴収税26,608,619円控除後）	650,991,235
その他収益	6,193,004
スワップ取引に係る収益・費用	(121,070,397)
投資純損益	<u>1,418,214,810</u>

費用

投資顧問料	67,240,148
その他費用	6,162,426
取引手数料	6,193,004
管理・保管費用	12,023,487
事務代行手数料	1,597,172
運用報酬	512,286
運用費用合計	<u>93,728,523</u>

期中の純資産変動

1,324,486,287

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2018年1月31日

1. 株式現物

銘柄名	株数	評価額		業種
		株	円	
COCA-COLA AMATIL LTD	315,554		233,723,044	食品・飲料・タバコ
BWP TRUST	129,175		34,251,812	不動産
ASX LTD	53,488		258,788,503	各種金融
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	411,444		164,373,951	小売
TRANSURBAN GROUP	199,936		212,412,119	運輸
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	64,282		448,110,424	銀行
CHARTER HALL RETAIL REIT	142,897		48,373,299	不動産
ADELAIDE BRIGHTON LTD	223,814		128,385,439	素材
AUST AND NZ BANKING GROUP	212,418		536,583,564	銀行
WESTPAC BANKING CORP	216,236		591,715,270	銀行
TELSTRA CORP LTD	1,772,220		574,867,191	電気通信サービス
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	92,462		95,698,252	銀行
APA GROUP	351,105		250,124,297	公益事業
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	537,236		343,785,455	保険
GPT GROUP	396,273		176,175,817	不動産
FAIRFAX MEDIA LTD	1,180,171		74,060,581	メディア
SUNCORP GROUP LTD	143,927		173,770,799	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	127,776		328,983,108	銀行
AUSNET SERVICES	997,268		149,405,096	公益事業
MEDIBANK PRIVATE LTD	328,120		97,154,145	保険
AGL ENERGY LTD	101,827		210,962,072	公益事業
VICINITY CENTRES	1,530,717		363,941,023	不動産
JB HI-FI LTD	81,408		210,319,590	小売
AMP LTD	978,614		454,103,191	保険
IOOF HOLDINGS LTD	219,496		213,792,286	各種金融
STOCKLAND	650,172		242,507,145	不動産
TABCORP HOLDINGS LTD	446,778		204,157,881	消費者サービス
WESFARMERS LTD	164,844		638,307,905	食品・生活必需品小売り
SEVEN WEST MEDIA LTD	585,583		29,242,920	メディア
ILUKA RESOURCES LTD	102,528		91,707,916	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	100,466		294,098,809	エネルギー
WOOLWORTHS GROUP LTD	131,239		312,611,901	食品・生活必需品小売り
DEXUS	151,796		127,860,693	不動産
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	865,746		176,760,939	公益事業
MACQUARIE GROUP LTD	10,890		99,265,132	各種金融
G8 EDUCATION LTD	131,335		39,003,500	消費者サービス
SEVEN GROUP HOLDINGS LTD	58,578		84,807,110	資本財
SYDNEY AIRPORT	344,291		207,231,899	運輸
AURIZON HOLDINGS LTD	219,427		90,765,278	運輸
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	266,061		52,911,194	不動産
WPP AUNZ LTD	200,694		16,674,241	メディア
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDINGS	497,882		73,929,800	メディア
SCENTRE GROUP	1,011,216		370,916,245	不動産
合計			9,526,620,836	

(注) 日付は現地基準です。

(注) リートを含まず。

2. スワップ

想定元本額	評価額
円	円
11,083,862,383	(48,613,841)

(注) () 書きは負数です。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第28期（決算日 2018年12月10日）
（計算期間 2018年6月12日から2018年12月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2018年12月10日に第28期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率 %			
24期（2016年12月12日）	10,179	△0.0	—	—	百万円 768
25期（2017年6月12日）	10,176	△0.0	—	—	840
26期（2017年12月11日）	10,172	△0.0	—	—	747
27期（2018年6月11日）	10,169	△0.0	—	—	717
28期（2018年12月10日）	10,165	△0.0	—	—	701

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	債券組入比率 %	債券先物比率 %
		%		
期首 (前期末) 2018年6月11日	10,169	—	—	—
6月末	10,168	△0.0	—	—
7月末	10,168	△0.0	—	—
8月末	10,167	△0.0	—	—
9月末	10,166	△0.0	—	—
10月末	10,166	△0.0	—	—
11月末	10,165	△0.0	—	—
期 末 2018年12月10日	10,165	△0.0	—	—

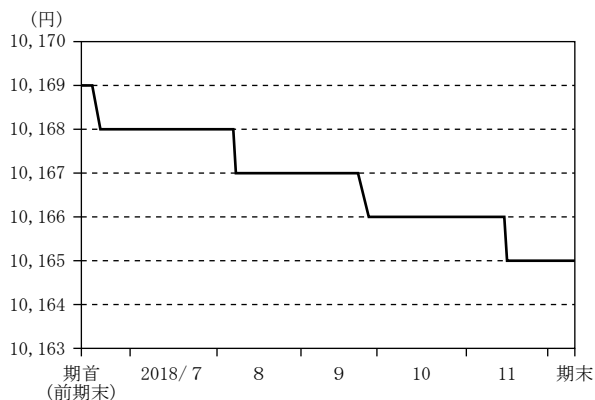
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,169円からスタートし、期末は10,165円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.13\%$ から期末は $\Delta 0.23\%$ となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

足許における比較的堅調な国内外の景気動向などを背景に、日本のインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2018年6月12日から2018年12月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2018/6/12~2018/12/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,166円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.001% (0.001)
合計	0	0.001

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2018年6月12日から2018年12月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2018年6月12日から2018年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2018年12月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2018年12月10日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 701,969	100.0 %
投資信託財産総額	701,969	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	701,969,063円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	701,969,063
(B) 負 債	1,471
未 払 利 息	1,471
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	701,967,592
元 本	690,573,313
次 期 繰 越 損 益 金	11,394,279
(D) 受 益 権 総 口 数	690,573,313口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,165円

(注) 期首元本額 705,799,804円
 期中追加設定元本額 800,635円
 期中一部解約元本額 16,027,126円

(注) 1口当たり純資産額は1,0165円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 T & D インド中小型株ファンド 69,040,591円
 米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース 3,385,141円
 米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース 20,016,360円
 米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネーボール・コース 88,475円
 豪州高配当株ツインαファンド (毎月分配型) 35,780,990円
 野村エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型 33,903,179円
 野村エマージング債券投信 (円コース) 年2回決算型 5,675,163円
 野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型 6,884,550円
 野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型 1,424,313円
 野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型 38,989,580円
 野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型 2,636,170円
 野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型 311,359,888円
 野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型 9,735,828円
 野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型 1,413,489円
 野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型 131,726円
 野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 毎月分配型 1,825,877円
 野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 年2回決算型 308,202円
 野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型 55,801,321円
 野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 年2回決算型 11,872,046円
 野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型 33,235,413円
 野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型 4,042,047円
 野村エマージング債券投信 (金コース) 毎月分配型 20,422,125円
 野村エマージング債券投信 (金コース) 年2回決算型 8,783,712円
 野村エマージング債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型 1,483,807円
 資源ツインαファンド (通貨選択型) ブラジルリアルコース 4,910,145円
 資源ツインαファンド (通貨選択型) トルコリラコース 883,826円
 資源ツインαファンド (通貨選択型) 米ドルコース 6,383,188円
 資源ツインαファンド (通貨選択型) マネーボールコース 156,161円

損益の状況

当期 自2018年6月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 246,364円
支 払 利 息	△ 246,364
(B) そ の 他 費 用	△ 6,034
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 252,398
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	11,900,186
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	13,365
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 266,874
(G) 合 計 (C + D + E + F)	11,394,279
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	11,394,279

(注) 損益の状況の中で

(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。